

諫早市立図書館資料選定基準

「諫早市立図書館資料収集方針」に基づいた資料収集を行うため、「諫早市立図書館資料選定基準」を定める。各図書館・図書室は、その施設規模・地域性に応じた蔵書構成に留意するとともに、諫早市全体としての資料の充実を図る。

1 一般図書

(1) 全分野共通

- ア 各分野の代表的な著作など、一般的な資料を体系的に収集する。
- イ 一般向けに書かれた入門書・概説書・解説書（目安としては大学の一般教養課程程度のもの）を収集する。
- ウ 各分野の代表的な研究書や原典にも留意して収集する。
- エ 全集・選集・叢書は、主要なものを市内の図書館で調整し収集する。
- オ 現在までの学問の変遷に留意して収集する。
- カ 社会情勢の動向を考慮し、新しい情報が収録された資料を幅広く収集する。
- キ さまざまな学説や主張があるものは、特定の主義・主張に偏ることなく、それぞれの観点に立った資料を公平に収集する。
- ク 日常生活と関わりが深く社会的に関心の高い資料を収集する。
- ケ 時事的なものは、その時々の利用者のニーズを勘案しながら質・量ともに最適なものを収集する。

(2) 総記 0類

- ア 図書館関係の資料は、図書館活動に役立つ資料を積極的に収集する。
- イ 出版・ジャーナリズム関係の資料は、幅広く収集する。
- ウ 情報科学関係の資料は、基本的で時代に即した新しいものを収集する。

(3) 哲学・宗教 1類

- ア 自己啓発本は厳選し、同一著者の複数本には留意して収集する。
- イ 占い・超常現象等の資料は、興味本位に書かれていないものを収集する。
- ウ 宗教関係の資料は、特定の宗教・宗派に偏ることなく公平に収集する。

(4) 歴史・地理 2類

- ア 歴史関係の資料は、新しい発見・新説に留意し、多様な視点で書かれた資料を幅広く収集する。
- イ 地理関係の資料は、新しい情報が収録された資料を収集する。特に旅行ガイド・観光案内・地図は、最新版の収集に努める。

(5) 社会科学 3類

- ア 政治関係の資料は、基本図書を中心にバランスの取れた収集に努め、特に、政治評論

に関する資料は一過性のものに偏らないよう内容をよく精査し収集する。

イ 法律・経済関係の資料は、法律の改定や社会の動向の変化に伴う新しい情報が収録された資料を収集する。

ウ 福祉関係の資料は、利用者のニーズに沿った資料を中心に、専門書にも留意して収集する。

エ 教育関係の資料は、学校教育・家庭教育・生涯学習に関するものを中心に、今日的課題について理解を深めることができる資料を収集する。

(6) 自然科学 4類

ア 自然科学関係の資料は、進展が著しい分野であり常に最新情報の収集に留意し、内容が正確で分かりやすい資料を収集する。

イ 医学関係の資料は、実用的な各種疾病を解説している資料や健康関係の資料を収集する。専門的な資料もその利用を勘案し、内容に充分注意し慎重に収集する。新しい治療法や民間療法については、客観性や科学性に留意する。

(7) 技術・工学・家政学 5類

ア 工学・工業・家政学関係の資料は、進展が著しい分野であり最新情報の収集に留意する。

イ 環境関係の資料は、特に新しい内容で時代に即した資料を収集する。

ウ 住宅・インテリア関係の資料は、実用的な資料を中心に収集する。

エ 情報通信関係の資料は、特に最新情報の資料の収集に努める。

(8) 産業 6類

ア 農林水産業・商業・運輸・通信関係の資料は、特に新しい内容で時代に即した資料を収集する。

イ 園芸・ペット関係の資料は、実用的な資料を収集する。

ウ ビジネス支援に役立つ資料は、積極的に収集する。

(9) 芸術・スポーツ 7類

ア 美術・音楽・演劇・スポーツ・諸芸・娯楽など利用者のニーズに沿った資料を中心に、専門書にも留意して収集する。

イ 理論書・歴史書・解説書だけでなく、制作・実技の技法書や鑑賞するための資料を収集する。多くの人に関心を持つ趣味の本については、入門書を中心に上級者にも応えられるよう、幅広く収集する。

ウ 美術全集・画集・写真集などは、ジャンルにとらわれず、網羅的に収集する。

(10) 言語 8類

ア 日本語関係の資料は、教養・学習・実用に役立つものを幅広く収集する。

イ 外国語の会話については、入門的な資料を中心に上級者にも応えられるよう、幅広く

収集する。

ウ 主要言語の辞典類は、幅広く収集する。

(11) 文学 9類

ア 関心が高く、最も利用の多い分野なので、各分野にわたり幅広く豊富に収集する。

イ 日本の小説・随筆・詩歌などについて古典から現代にいたるまで幅広く収集する。

ウ 外国文学については分野にとらわれず古典および評価の高い現代文学を収集する。

エ 各種受賞作品や話題になっている作品は、複本の収集にも留意する。

(12) 外国語資料

ア 市内に居住する外国人や語学学習者などを利用対象として、各分野にわたる外国語資料を収集する。

イ 英語で書かれた資料を中心に、アジア語圏やそれ以外の言語で書かれた資料を収集する。

ウ 外国人向けに日本を紹介した資料を収集する。

エ 諫早市と交流のある外国の姉妹・友好都市の資料を収集する。

オ 図書資料の他、新聞、雑誌についても収集する。

(13) 参考図書

ア 参考・調査・研究機能を果たすために必要な資料を、幅広く体系的に収集する。

イ 一般的な調べものについては、できるだけ市内の図書館で対応ができるように参考資料の収集に努める。

ウ 各分野の基本的な辞書・事典（百科事典・国語辞典・外国語辞典・人名辞典等）を収集する。

エ 白書、年鑑、年報類、各種統計書は、毎年新しい資料を収集する。

2 青少年図書

(1) 日常生活や学校生活の中で持つさまざまな興味・関心に応えられる資料を収集する。

(2) 中高生の感性に共感できるものを収集する。

(3) 古典的なものについては長く読み継がれてきたものを収集する。

(4) 本に出会う楽しみを知るきっかけとなるものを収集する。

(5) 一般向けに出版されたものでも収集の対象とする。

3 児童図書

(1) 対象別

ア 乳幼児期

0歳～2歳ごろは、わらべうたや童謡、繰り返しを楽しむ絵本など、ふれあいの時間を持つための手段となる絵本や、食べもの、生きもの、乗りものなどの生活絵本、簡単なストーリーを楽しめる絵本を収集する。

3歳～5歳ごろは、絵本の内容も楽しめるようになるため、物語絵本や科学絵本、なぞなぞなどの言葉あそび絵本、おりがみなど簡単な工作本なども収集する。

イ 小学生期

低学年は、絵本から読みものへ移行する時期で、字を学び、一人で本を読もうとするようになるので、挿絵が多く字が大きな読みものを収集する。昆虫・動物・植物・天体など、身近な自然を扱った科学絵本は積極的に収集する。

中学年は、行動範囲も広がり、興味を持つものが多様になることで読書離れが進み始める時期であるため、子どもの興味や関心のある内容の本を積極的に収集する。

高学年は、読み応えのある長編の物語やシリーズものも収集する。

(2) 分野別

ア 絵本

(ア) 長く読み継がれてきたものを収集する。

(イ) 絵を見るだけで物語を理解することができるものを収集する。

(ウ) 文章は簡潔で美しく、絵と一体となっているものを収集する。

(エ) 主人公や登場人物が生き生きとして共感できるものを収集する。

(オ) 知識絵本は正確な知識に基づいていて、用語などが正しいものを収集する。

イ 読みもの

(ア) ストーリーに起承転結があり、主人公や登場人物が生き生きとして共感できるものを収集する。

(イ) 幼児から小学生まで、幅広い年齢の子どもの要求に応えられる資料を収集する。

(ウ) 古典から現代の作品、昔話・フィクション・ノンフィクションなど、各分野を幅広く収集する。

ウ 調べもの

(ア) 調べ学習に役立つものを収集する。

(イ) 写真や図版が豊富で、分かりやすく記述されているものを収集する。

(ウ) 新しい情報や正確な知識に基づいた内容のものを収集する。

(エ) 子どもたちの興味や流行に留意したものを収集する。

4 地域・行政資料

(1) 諫早市を中心に県下のあらゆる分野のものを積極的に収集する。

(2) 諫早市が刊行した行政資料はもれなく収集する。

(3) 地域資料については、寄贈を積極的に活用し収集する。

(4) 地域・行政資料は、原則的に除籍は行わない。

5 マンガ

- (1) 定着した評価を得ている作品や実績のある作家の作品を収集する。
- (2) マンガ関連賞受賞作品を収集する。
- (3) 諫早市にゆかりのある作家の作品を収集する。

6 逐次刊行物

- (1) 新聞は、主要全国紙を中心に地方新聞・外国語新聞・スポーツ新聞等を収集する。
- (2) 政党の機関紙については、寄贈された場合のみ収集する。
- (3) 雑誌は、さまざまな利用に応えるため、市内の図書館で調整し、あらゆる分野のものをバランス良く収集する。

7 視聴覚資料

- (1) 音楽は、あらゆる分野のもので、音楽性および芸術性が高いものを収集する。
- (2) 映画は、社会的に評価されているものを収集する。
- (3) 映画関連賞受賞作品を収集する。
- (4) 諫早市にゆかりのある作品を収集する。
- (5) その他、知識や技術の習得および教養に資するものを選択して収集する。

8 バリアフリー資料

- (1) 図書の閲覧に支障がある利用者の幅広い要求に応えるために、大活字本・DAISY（デイジー）図書・CD・LLブック・点字図書・カセットテープなどの音訳（録音）図書等を収集する。
- (2) 音訳（録音）図書は、利用者の要望やこれまでの利用実績のある分野を中心に収集する。
- (3) 点字図書は、利用者の要望に沿うように収集し、また寄贈のものも選んで収集する。
- (4) 大活字本は、高齢者および視覚障害者を中心として幅広い利用があることから、あらゆる分野のものを収集する。
- (5) DAISY（デイジー）図書は、ボランティア団体の協力を得ながら、利用者の要望やこれまでの利用実績のある分野を中心に収集（作成）する。